

日本共産党市議会議員

無料法律相談会

市職員の給与に関する条例の改正

市長および市議の選挙運動の公費負担条例の改正

-般会計補正予算(2号)

-般会計補正予算(3号)

工事請負契約について

市営住宅条例の改正

市国民健康保険補正予算(2号)

市下水道事業特別会計補正予算(2号)

農業委員および農地利用最適化推進委員条例

市職員の退職手当条例の改正

ここ

ホームへ゜ーシ゛ http://www.dl.dion.ne.jp/~smileiko Eメール smileiko@dl.dion.ne.ip

第104号

2017年 1月22日(日)

足利市田中町789 第3石川ビル3階 市議会議員 おぜき栄子

戦争法 安保法制 は廃止へ!



2016年12月議会 おぜき栄子の賛否

市税条例等の改定

議案No

第66号

第67号

第68号

第69号

第70号

第71号

第72号

第73号

第74号

第75号

第76号

医療費控除

から差し引くことができる。

家族全員が支払った医療費1年間(1 月~12月)10万円(所得金額が200万 円未満の人は「所得金額×5%」の額) を超えた場合、その超えた金額を所得

医薬品控除(約1500品目) 1年間に購入した医薬品1万2000円を 超えた金額(限度額8万8000円)を所 得から差し引くことができる。

市 議会議員 おぜき栄子

毎月第1火曜日(おぜき栄子事務所)

TEL(72)7848 FAX(71)8392

めるために全力投球でも二歩でもと前へ進 す。今年もよろしくお 義で市民の生活を一

しよう ゆる手立てを尽くしま 樹立させるためにあら 込み、野党連合政権を 市民の生活を一歩今年も現場第一主

賛否

0

0

0

0

0

0

0

0

0

×

の予防接種を受けているだ

までも医師の判断を原則に けでも対象。服薬は、あく

した医療制度を守り、発展

でたたかうことができ しました。安倍政権を 湧いてきました。政治 たことに大きな希望が この保守の強い栃木県 日も早く退陣に追い 変えられると実感

の議案に反対しました 下記の理由から

④特別会計の補正予算 ③市長、市議の選挙における ②市職員の給与に関する条例 ①一般会計補正予算 とおりです 主な議案 12月22日となります 今議会の議案は左記 会期は、11月29日から などが審議されました。 公費負担に関する条例

の参議院選挙、知事選でしょうか。私は、昨年てどのような年だった

皆さんにとつ

挙で野党共闘によって

左記

ば、この控除を受けることの中で、1つだけ受けていれ 健康診断や予防接種など控除の特例を受けるには、 称して推進することは、市 定されます。今回の医療費 かず手遅れになることも想 販薬を服用して、医者に行

員会になる」と述べていま 利用の最適化だけをやっ くなる」また「今後は農地 域と地権者に信頼されな 業委員会が形骸化し、地 員会となり、『活動』は、 ていればいいという農業委

います。医療費の削減のた させることが今求められて

めるべきです。(医療費控除 めの医療費控除特例はや

とどちらかの選択)

発展さる農業委員会を切 立した地域の農業を守り いけるような施策を講じ る農業者が農業を続けて らないことは、減少を続け ることです。行政庁から独 今、一番進めなければな

療費控除の特例として、平 べき医薬品を自主服薬と することを設置。 成30年から34年の5年間 入費を支払った場合は に個人の市町村民税に限 本来病院で 処方される 、総所得金額等から控除 特定一般用医薬品等購

ができます。インフルエンザ

進委員会の役割になる。農 業委員会は単なる机上委 推

医薬品控除はやめよ!医療費削減のための

二月議会報

告

農業委員会の 公選制廃止!

変更に伴う条例改正であ ることから、新しい制度の 委員定数条例の廃止とな 農業委員会の選挙による 員選挙区条例及び足利市 足利市農業委員会委 農業委員会法改正によ

新駅の目的

員会が委嘱 委員定数を15人(現在24 業委員は議会同意を要件 る。条例改正の内容は、農 委員を定数20人を農業委 に公選制から市長任命制 に変更。公募により農業 人)、農地利用最適化推進 国会の参考人質疑で「農 ②3者共同事業 観光の振興を図る ②足利市及び県南地域の産業・ 3 今後の予定 足利市、JR東日本、栃木県 ①駅舎等11億円 道路等4億円 2 総事業費15億円 策を推進し産業の振興をはかる ③足利市東部地域の土地利用 の交通渋滞緩和策 ①足利市及び佐野市の幹線道 な内容は次の通りです

政

に望みます

声があがり 新駅の必要性が問 着手しなかったのか、渋滞の緩和 ではなぜ、富田駅前を早くから 雇用などの振興を図るとしている 域の土地利用政策の推進と産業、担は求めない」、主目的は、東部地 るべきではないかと指摘すると「負 ために当事業者にも負担を求め らわずか1kmの場所に「あしかが になるのかなど市民からも疑問 フラワーパーク」の隣接地に建てる 突然の新駅設置方針 、富田駅か



場整備等 H30年3月開業 同年4月駅前広 についての説明が行われました 新駅 (フラワー JR両毛線の富田駅西1KEに いての説明が行われました。主1月16日(月)市当局より新駅 パーク北)を設置

般質問

環境問題

小規模の新焼却場を!徹底したごみ減量で

年度を起点に9年後のH36年

おぜき:ごみ処理量をH27

みの分別・減量を呼び掛けて 女性団体等に直接出向き、ご 折る。生ごみの水切り、紙類の 当局:ごみ減量の取組みとし 分別を自治会 老人クラブ に分別の徹底をお願いしてい (アクションプログラムを中心 ごみ処理量削減目標と予測人口 H36年43000t(-15%) 138000 人 おぜきの新焼却炉提案 H36年36000t(-30%) 138000 人 170トンの 140t以下/日·70t以下/2炉 300t/日•100t/3炉 現焼却炉 新焼却炉構想 170t/日·85t/2炉

整備点検を見込み、全国の標当局:新焼却炉は、稼働率・ 15%では、これまでの人口減おぜき・・ごみの削減目標 減目標(100+/日)をたてれ 的計算により 小できるのではないか による削減。ごみを3%削 、新焼却場の規模を大幅に

ことが見込めないため、民事 調停等の法的手続きに入っ

河南

21,881

23.582

26,506

1430

認定者数 利用者数

要支援者1・2の利用状況(2016年8月現在)

743

利用者数

157000人

150000人

との市側の対応は、埋立最 明瞭さ、裁判に訴えたこ 明がくる以前の対応の不 同然の回答となり 改めて 優先の立場を放棄したも 市の責任の重大さが露呈 地権者側から、内容証

ごみ処理量と人口の推移

-15%)

H21年60000t

H27年51000t(

果をどう論議し具体化した 言書が出されているがこの結 果ガス削減の目的で生ごみり を足利工業大学へ委託し、提 サイクルについての調査研究 の減量化・有効利用と温室効 **おぜき:・**H21年 6月に生ごみ

面や生成物の処理先などの の更なる分別収集など、コスト めの新たな施設の導入など提 **当局**:プラントによる生ごみ のたい肥化 **い題で** 。プラントの導入は、生ごみ 具現化は難しいと判 メタンガス化のた 満足度が高まる見直しが必 のバスの見直しの中で、市民の ていない地域もあり

るのではないか

もっと市民と協働で減量でき

言

こみ減量を強化としているが

15%削減を見込みました

た。
「これ」はおりました。
たれている回答となりました。 ている時に市民への働きかけ があらゆる方面から求められ も不十分で、大型焼却場建設 ごみ減量に対する取り組み

の責任重大!保処分場問題は、

市小

負担を主張しているが、市は策、賃借権の範囲、測量費の 当局:双方の見解には大き それぞれどのように対応して な隔たりがあり 合意に至る 者は 内容証明で おぜき:小俣処分場の地権 きたのか 湧き水対

名草線

12,586

13,480

13,690

1162

(契約更新時期:H31年)

生活路線バスの乗車人数

乗車人数

164,915

167,960

179,830

1036

認定者数 要支援

平成

25年

26年

27年

1600

1400

1200

1000

2 増河

れず 当局:河南地区に乗り入れ えているか も発生しているが、対応を考 発の路線が乗客が満員(9 足利赤十字病院8時40分 おぜき:御厨線(右回り)の 人)で、待機タクシーを待ちき 便に1360万円! 、乗車をあきらめる事態

考え市民の足として、路線バス 当局:全体の見直しの中で 便する考えはないのか。万円かかるとのことだが 直しの中で、対応すると消極 かにしましたがあくまでも見 1台の増便の必要性を明ら りのワゴンバスとなっており る、河南・名草線は、9人乗 が重要な役割を果たしてい バスを1台増便すると1360 的な回答となりました。 おぜき:河南・名草線の路線 増

生活路線バスの充実を

サービス抑制とならないか?総合事業は、限度額設定!

定着・発展してきた。設。高齢者介護の中核として 全体で支える仕組みとして創 当局:高齢者の介護を社会 うに評価するするのか - : 『『つてきた役割をどのよ 的な運営を図るとは介護保 介護保険制度の安定的・継続 費用の効率的な配分により 支援総合事業の実施にあたり おぜき:介護予防・日常生活

、市全体

が受けられるのか 2の方(新たな対象者も含む) 護保険から同総合事業へ移行おぜき:平成29年度から、介 ているサービスの範囲内が前 当局:要支援12の方が使 はこれまで受けてきたサービス する居宅介護予防サービス (訪問・通所)を要支援者1, 提で利用できる

充実へ 3 社会保障としての施策

ります。高齢者が希望し、必ビス抑制にはたらく危険があ サービスを受けられるとして 要とするサービスが受けられ とを明らかにしました。サー るように注視してゆきたい 険給付費の3%なっているこ きた総合事業の限度額は 再質問のなかで 、同等の 保

要支援2

2017年1月8日成人式にて(山辺・矢場川地区)



2017年1月19日「総がかり行動」の皆さんとともに!

新ごみ焼却場の 建設に122億円?

について当局の説明がありまし 廃棄物処理施設整備基本構想昨年の12月22日「足利市一般

*施設の現状

省エネルギー化、規模の適正化、稼働後33年経過、経年劣化 *建設予定地

*処理方式は、左記から選択の用地及び東側の地域

現在ある南部クリーンセンター

ガス化溶融(資源化)

新リサイクル施設

*概算事業費

が大変な時にどの事業を優先さけてすすめるべきです。市民生活的にした焼却場建設を時間をか サイクル施設ができても回収し クル施設が狭いために回収でき示されました。以前から、リサイ せるか考え、計画的な対応が求 ないとしてきた白色トレーもリ められます

場とリサイクル施設の概要案が える多額な建設費など新焼却 も不十分な中 ごみ減量という市民との議 100億円を超